



# 2026年3月期 第3四半期決算報告

---

2026年2月5日

1. 経営状況報告
2. 2026年3月期 第3四半期決算報告
3. 2026年3月期 通期見通し

## 中期経営計画（2022/4～2026/3）の進捗状況

戦略	・映像事業のシネマカメラへの展開、精機事業の新型ArF液浸露光装置・後工程向けデジタル露光装置の開発等、将来の成長のための施策は着実に進捗
経営基盤	・内部管理体制、生産拠点整備、IT/DX投資等、長期成長のための基盤強化策に着手 ・政策保有株式および遊休不動産売却などバランス・シートの効率的運用推進
財務計数	・「売上収益7,000億円」目標は4年の中計期間中複数年度で達成したが、収益性関連目標の「営業利益率10%以上」「ROE8%以上」は未達に終わる見込み

## デジタルマニュファクチャリング事業における減損損失の計上

- ・①金属3Dプリンター市場の将来成長率低下、②中国メーカーの台頭を含む競争環境激化等を踏まえ、デジタルマニュファクチャリング事業全体の**将来計画を見直し**
- ・**SLM社買収に伴うのれん・無形資産を中心に、906億円の減損損失をQ3決算で計上**
- ・SLM社のビジネスは拡大基調にあり、米国・欧州等の**防衛・宇宙市場**を中心に**中長期的な成長**を目指す

## 経営責任の明確化 (役員報酬の減額)

- ・2026年3月期の**最終損失**および**配当予想の引き下げ**等に関する**経営責任**を明確にするため、会長CEOおよび社長COOの2026年3月期に係る賞与および**業績連動型株式報酬を全額不支給**とする

## 主要株主の状況

- ・エシロールルックスオティカ社14.2%保有(1月26日現在)。最大**20%保有のクリアランス取得済**

5月公表予定の次期中期経営計画(2026年4月～2031年3月)では、  
「短期業績の回復」と「長期成長のための投資」の両立を目指す